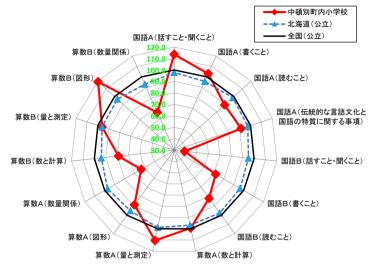
■中頓別町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1、児童数:10名)

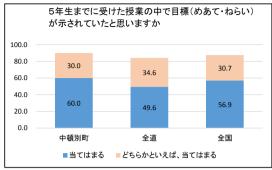
【教科全体の状況】

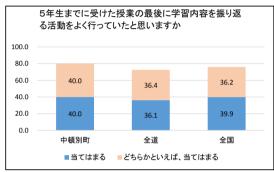
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

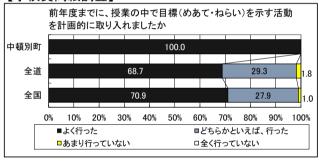


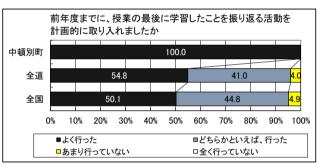
【児童質問紙調査】





【学校質問紙調査】





【分析】

教 科	0	国語Aでは「話すこと・聞くこと」、「書くこと」で、全 国を上回っている。 算数Aでは「量と測定」、算数Bでは「図形」で、全 国を上回っている。
児童質問紙	0	「5年生までに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか」という質問に、「当てはまる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。
	0	「5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」という質問に、「当てはまる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	0	「前年度までに、授業の中で目標(めあて・ねらい) を示す活動を計画的に取り入れましたか」という質 問に、「よく行った」と回答している。
	0	「前年度までに、授業の最後に学習したことを振り」 返る活動を計画的に取り入れましたか」という質問 に、「よく行った」と回答している。

- 授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す取組を教職員で共通理解を図って行ったことにより、児童が見通しをもって学習に取り組み、教科に関する調査の結果で国語Aの「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、算数Aの「量と測定」、算数Bの「図形」で全国を上回ったと考えられる。
- 授業の最後に学習したことを振り返る活動を 計画的に取り入れたことにより、児童の学習 内容の定着が進み、教科に関する調査の結 果で国語Aの「話すこと・聞くこと」、「書くこ と」、算数Aの「量と測定」、算数Bの「図形」で 全国を上回ったと考えられる。

【中頓別町の学力向上策】

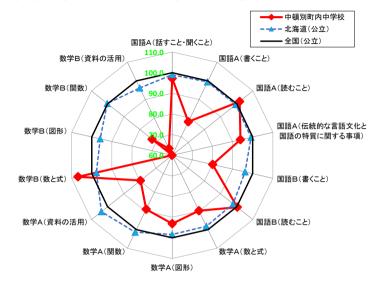
- ◎ 「早寝早起き朝ごはん」運動の推進、家庭学習習慣の確立や読書の時間の確保
- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果に基づく教育活動の検証・改善
- ◎ 中頓別町教育研究会への支援、中頓別町・浜頓別町合同研究会の開催

■中頓別町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:10名)

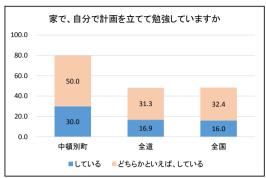
【教科全体の状況】

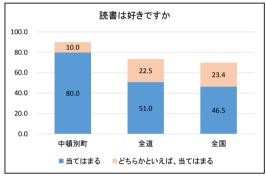
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

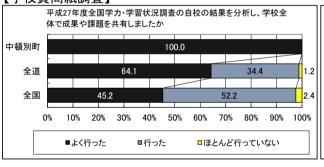


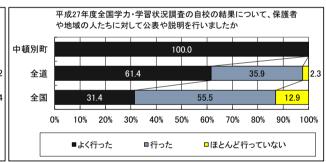
【生徒質問紙調查】





【学校質問紙調査】





【分析】

- 国語A・Bとも「読むこと」で、全国を上回っている。 教 科 数学Bでは「数と式」で、全国を上回っている。 「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」 という質問に、「している」と回答した生徒の割合 が、全国を上回っている。 生徒質問紙 「読書は好きですか」という質問に、「当てはまる」 と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 「平成27年度全国学力・学習状況調査の自校の結 果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しまし たか」という質問に、「よく行った」と回答している。 学校質問紙 〇 「平成27年度全国学力・学習状況調査の自校の結 果について、保護者や地域の人たちに対して公表 や説明を行いましたか」という質問に、「よく行った」 と回答している。
- 教育委員会として、家庭学習習慣の確立や読書の時間の確保の取組を推進したことにより、自分で計画を立てて勉強する生徒や読書が好きと回答した生徒の割合が全国を上回り、国語の「読むこと」の領域で、全国を上回ったと考えられる。
- 平成27年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、保護者や地域の人たちに対して公表したことにより、成果と課題の共通理解を図り、学校、家庭、地域が一体となった学力向上の取組を推進することができたと考えられる。

【中頓別町の学力向上策】

- ◎ 「早寝早起き朝ごはん」運動の推進、家庭学習習慣の確立や読書の時間の確保
- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果に基づく教育活動の検証・改善
- ◎ 中頓別町教育研究会への支援、中頓別町・浜頓別町合同研究会の開催